

記念講演参加者の感想

- ◆とても良かったです。海さんの言葉選びがすごくお上手で、非常に勉強になりました。いろいろなご経験から、ご自身のお言葉として発信するお力が素晴らしいと感じました。本日、書籍を購入させていただいたので拝読いたします。
- ◆海さんに大変元気をもらった。パワーが全身から溢れ出ていて、自分も負けていけないと思いました。充実した日を送ることは大切ですね。
- ◆回復期のリハビリ病棟に勤務しており、多様な障がいを持った患者様がいますが、今後、勤務するにあたり患者様の尊厳や患者様の目線に立って務めていきたいと思いました。
- ◆自分は福祉用具専門相談員の資格を持っており、普段の業務などで患者様のADLを活かし、患者様に寄り添った安心、安全なケアに務めていきたいと思いました。
- ◆初めての参加です。日々勉強しなければ介護の仕事ができないという不安がありました。ここに来て、皆様の輝いている目を見て、一つの目標に向かってるんだなと感じました。仕事との両立、大変なのによくやっているなど。私にもできることがあるかしら…この年になっても勉強させて頂きたいなと思いました。海さんのことを知って良かったです。前向きでエネルギーが豊富な方がいるんだと…タジタジ。私も頑張ろうと(仕事も私事も)元気を頂きました。人と比べず自分の仕事をしよう！明日から！
- ◆「心のバリアフリー」普段ならどう自分は感じるだろうかと自問自答する言葉でした。とてもポジティブなお話を聞き、目からウロコでした。
- ◆人と比べない、自分自身と向き合いながら、前向きに生活をしている姿、人間性それを発信する力の高さ、素敵で見習いたいと思いました。改めてケアとは何か考える良い機会となりました。水野会長さん 海さんと出会わせてくれて感謝です。



「20年の熱い想い」 ～入会20年表彰者のインタビュー～



毎年定時総会の機会に入会20年の会員さまを表彰しています。今年は20名のうち4名の方にご出席頂きました。社会情勢が変化するなかですが、変わらないことも多いはず。熱い想いが会員の皆様に届きますように…☆彡

【印象に残っていること】

- ◇認定介護福祉士として地域での役割はじめ、新たに挑戦したいことができワクワクしている。
- ◇長年介護と向き合い実技試験が印象的で、その時の介護の在り方が本来の姿と感じている。
- ◇会を通して一生付き合える仲間ができたことがうれしい。学んだこと、相談すること、時には

【介護の魅力】

- ◇介護は気持ち(内面)が大きい、今以上に教育を重要視し現場で実践できる職種だと感じている。
- ◇“笑顔があり心が豊かになる”ことを上手くPRすればもっと魅力が伝わる！ ◇高齢福祉と障がい福祉の双方に関われ、特に最近障がいに関わる方の精神の強さがキーワードになり、やりがいを感じる場面がある。 ◇日常生活の支援を通してその人らしさに寄り添える。 ◇介護福祉の学びを通して価値観や視野が広がり人生観が変わっていくこと。

【次世代の皆さんへ】

- ◇人との繋がり、交流の場を持って欲しい。「人が宝、繋がりが宝」「心が動けば体が動く」 ◇研修に参加し、それ以上のことも学べる環境を自分で作っていく。 ◇職場外でも悩みを相談したり情報共有や共感できるような…仲間をつくる！ ◇常に勉強！



広報委員の仲間大募集！ —私たちと一緒に静岡県介護福祉士会をPRしましょう！—

【具体的な活動】 会報誌やホームページの作成 取材や原稿の執筆、依頼等

【今年度の目標】 充実した会報誌を作り広く読者を増やしていきましょう！

☆10月14日の介護の未来を語る「介護の学舎」11月23日のケアコンテストの二大事業も広報委員会でPRします。また、SNS (Instagram、Facebook 等)のサポートができる方も大歓迎です！ぜひ事務局までご連絡ください！



会報誌
号外

Bon くらーじゅ



令和6年度 一般社団法人静岡県介護福祉士会 定時総会開催される

開催日 5月18日(土) 会場 静岡県総合社会福祉会館 703 大会議室

第1号議案「令和5年度事業報告」第2号議案「令和5年度決算及び監査報告」第3号議案「役員改選」第4号議案「令和6年度事業計画」第5号議案「令和6年度予算」と全ての議案が可決されましたので、ここに報告いたします。静岡県介護福祉士会は設立30年を迎えました。諸先輩方の志高く、さらに熱意ある思いのもとに歩んできた「30年」です。その思いを大切に、本会のポテンシャルを存分に活かしつつ、静岡県内の介護・福祉の明るい未来を作り上げていきたいと思っております。また、他団体等に意見を発信できる強い組織づくり、行政機関と介護・福祉に関する問題解決に向けて、模索できる機会を増やしていくことが必要です。そして、〈介護現場に求められる学びの機会の提供〉、介護現場で働いている無資格者や外国人に対しての〈介護福祉士資格取得支援〉、介護福祉を担う〈学生の興味関心を動かす連携〉 さらに常に介護を担う者の拠り所になるよう、役員・事務局一同、皆さまと共に活動を進めていきたいと思っております。本会の事業活動につきまして、引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会長 水野 公智

新理事紹介



私は介護福祉という仕事が好きです。利用者様と仲間達に支えられ、老健や訪問介護事業所で長年勤めることが出来ました。与えられたものを少しでも還せるように…と介護福祉士会での活動に参加しております。私は介護福祉士が専門職として成長していく為には共に歩む仲間の存在が大切だと考えています。共に学ぶ場、やりがいや悩み、喜びを分かち合える場を支えていけるように精一杯努めたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

駿東・田方ブロック 石代 由子



私が目指す熱海・伊東ブロックの3つ目標を掲げさせていただきます！

- ①熱海・伊東ブロック会員数 50 名 ※現在 37 名 任期中の達成を目指します！
- ②地域を巻き込んだ研修会の開催 ※地域の方々と一緒に話し・考える場を作る！
- ③熱海・伊東ブロックが伊豆半島の介護情報の発信拠点になる！ 頑張りたいと思っておりますので応援よろしくお願ひ致します！

熱海・伊東ブロック 長岡 紀澄



会社の代表に薦められたのがきっかけでした。私自身、若い世代が減少していく社会の中で、介護の担い手を減らさないようにと考えていた為、立候補に至りました。介護職の環境は、まだまだ改善の必要性があると感じています。介護職の環境を改善し、新しい世代に魅力を伝え、将来の選択肢の中に介護職が選ばれる社会にしていきたいことが私の目標です。

志太・榛原ブロック 池田 友佳



現在、知的障がい者支援施設に勤めています。理事になったから何かが変わるのではなく、今まで通りに「したら介護福祉士の地位が確立をするのか。その方法や仲間作りを今いる仲間と力を合わせて考えていく事が出来たら良い」と思います。これからもよろしくお願ひ致します。

中東遠ブロック 鈴木 健太



私は介護の仕事始めて20年。介護福祉士となって15年が経過しました。職に就いた頃と比べて私たちの職種の地位は向上しているのでしょうか？生涯学び続けることが地位向上に繋がるのではないのでしょうか。介護福祉士会の活動を通して介護の魅力等を伝えていければと思います。微力ですが、貢献できるように頑張ります。

浜松ブロック 内山 栄介

令和6・7年度 役員紹介

※()所属ブロック

会長:水野公智(静岡市) 副会長:齋藤升美(静岡市) 増田知佐子(志太榛原) 監事:大原みづぎ(志太榛原) 山畑晋也(静岡市)
理事:佐野真弓(富士富士宮) 永井華織(駿東田方) 宇佐美真澄(駿東田方) 石代由子(駿東田方) 長岡紀澄(熱海伊東)
長倉浩之(下田賀茂) 櫻井知世(静岡市) 飯塚哲男(静岡市) 鍋田弥寿人(静岡市) 佐藤葉子(志太榛原) 池田友佳(志太榛原)
杉本洋子(中東遠) 鈴木健太(中東遠) 榎本利江(浜松) 小楠隆義(浜松) 村松正広(浜松) 内山栄介(浜松)

令和6年5月18日(土) 静岡県介護福祉士会 設立30周年記念講演
モデル 葦原海(あしはらみゆう)さん『私はないものを数えない』開演です！！

葦原海さんは16歳の時に事故で両脚を失くしました。現在はSNSで車いす生活に関わる発信を続け、総フォロワー数は70万人を超えます。2016年NHK番組内で行われたファッションショーをきっかけに、モデル・タレントの活動を始め、東京2020パラリンピック閉会式やミラノファッションウィークへの出演など、注目されているモデルさんです。今回は車いすでの生活についての発信だけでなく、参加者からの質問にもたくさん答えて下さっています。

● MISIA(ミーシャ)のバックダンサーを拝見して惚れこんだ！！

葦原海(みゆう)さんが30周年記念講演に来て下さった経緯が明かされました。なななんと！！水野会長が熱烈大ファンであったことが判明。「こんなに年の離れた方に思いを伝えるのもためらいました。」などと今更呼んでおいて何を言う！・・・熱烈大ファンというか、もはや惚れ込んでますね。・・・と冗談はさておき、東京パラリンピックの閉会式で、緑の帽子を被られ踊っている姿が印象的で、一目でファンになった水野会長は、海さんにお手紙を出されました。その手紙にも返事をしっかり書いて下さり、本当にフォロワーさんを大事にされている方だと感銘を受けられたようです。また、海(みゆう)さんの説得力ある言葉に魅力を感じ、障がいのことを考えるきっかけになる良い機会と考え、30周年記念講演のゲストとしてお迎えすることになりました。

さあ！憧れの海さんを隣に、ドキドキの講演&トークショーが始まります。

● 障がい者への理解を広めるって、全然広まっていないじゃん！

～今のお仕事をされたきっかけは？～

18歳の時にテレビ番組のファッションショーに出演、それからモデルのお仕事をしています。きっかけは、18歳の時NHK番組で東京パラリンピックに向けて、障がい者への理解を深める事が目的のファッションショーに参加しました。しかし、開催後のコメントでは福祉関係や障がい者の方、そのご家族に限定され実際、一般の方への理解には届かず「障がい者への理解を広めるって、全然広まっていないじゃん！障がい者と健常者の間にある壁を壊したい！自分が表に立って発信していこう！」との思いで、現在のお仕事をさせていただいています。



● 物事の捉え方で気持ちが前を向いていく。

～事故当時のお話聞かせてください～

事故当時は意識がなく、足を切断する決断は自分ではできる状況ではありませんでした。足を残す場合、感染のリスクもあり切断する事で生存率が上がると先生が説明され、両親が選択してくれました。

足の事は、上は病院着なのに下は何か違う違和感があって気が付きました。足が無いと知ってからも、退院したくて早く友達に会いたい、遊びに行きたいと思う気持ちが強くて、退院後も思い通りには行かなかったけど、結果的には皆と違うことをするのが好きだったので、それほど深刻には考えず、物事の捉え方で気持ちが前を向いていたんだと思います。

● 車いすについて、電動車いすだと必要な筋力を動かせない。

～電動アシスト車いすの乗り心地はいかがですか～

車いすバスケで使う車いすは合いません。イベントに行った時に、この車いすと出会い、すごく気に入り購入しました。必要な筋肉を無理なく動かせる事、電動車いすだと必要な筋力を動かさなくて、せつかく筋力が付いてきているのもったいないなあって。アシスト機能が付いているので安全に乗りやすいです。車いすの色もいろいろな服に合うように、控えめな色でとても気に入っています。

(車イスの)手すりの上に座らなければプリクラが撮れないじゃん！

この車いすは16歳の時に作っていただきました。ひじ掛けは跳ね上げ式が主流だったのですが、私はどうしてもプリクラの写真を撮りたいので、手すりの上に座らなければプリクラが撮れないから固定式にしました。

(その瞬間「ひょい！」と手すりに飛び移る海さん。16歳の時のままの無邪気さが垣間見えた一瞬でした！)

● ありのままの等身大の私を伝えたかった！

～本のタイトルの由来は～

本のタイトル「ないものを数えない」は最初に決めた訳ではありません。「車いす生活で何に困ったのですか」とないもの、できないことに対する質問が多く、返答にとっても困ったことから、やり方を工夫したり人に頼れば解決できることなど、自分で困ったことや迷いが少なくなったことから「ないものを数えない」とのタイトルになりました。



● 私は他の人と比べない

～負けない心、気持ちの持ち方って～

負けない心っていうか、そもそも他の人と比べないという考えでいます。人は育ってきた環境も違うし、みんな同じじゃないって。しんどい時もあるけれど、将来あれも自分が作り上げた経験と思えばいいじゃんって考えるようにしています。とりあえず、今の事を全力で取り組みれば良いと思っています。

● いつ何が起きるかわからないから“くよくよ”してられない

～ポジティブシンキングなのは どうして～

何でもかんでもポジティブであったかと言われれば、ちょっと違います。名古屋から引っ越した時には、言葉のイントネーションの違いでいじめられたりもしたけれど、それでも将来への夢や未来を描いていました。事故を経験してからは、将来を考える事も大切だけれど、今この瞬間を大事に生きなければと、考えるようになりました。いつ何が起きるかわからないから“くよくよ”してられない、との思いもあります。

◆ 輝かしい介護福祉士の未来を見つめて

日本介護福祉士の及川会長から、海(みゆう)さんは「人と比べない」と仰っていました。介護現場でも人と比べてはいけません。ご利用者一人ひとり思いがある。個人個人のケアを介護福祉士として考えていかなければならないと改めて思います。ポジティブシンキングたくさん出てきました。輝かしい介護福祉士の未来を見つめていただきたいと思います。ちょっと臭かったかな。(会場笑い)・・・かなり臭かったです(笑)



◆ なんでも挑戦できる心のバリアフリー

水野会長から、できないこともたくさんあると思いますが、ジュースをこぼした、さあどうしようかな？障がいがあるから、こぼしても片付けられない、仕方ないまた、性格上の問題であったり様々な視点でご利用者を見ていく。障がい者の方が手を挙げないと何かしてくれない社会ってどうでしょうか。海さんは容姿がきれいな方で、言葉の発信力もある。発信力・発信の仕方などが本当に重要だと思いました。

今、認定介護福祉士となられた方は、まさに「ケアとは何か！」を問われている。この問いに尽きるのでは・・・本の中にも何よりの差別は福祉を知らないこと！ポジティブさとは、「とりあえずやってみよう！」の思いはとても大事。失敗を恐れず、障がいがあっても何でも挑戦できる心のバリアフリーを目指す。最後に海さんに「楽しい？」と聞きたかったけれど、見たまま楽しんでいる！それは愚問と思いました。今回、記念講演に参加された皆様には何か持って帰れるものがあればいいかな～と思っています。

「楽しい？」と聞きたかったけれど、見たまま楽しんでいる！それは愚問と思いました。今回、記念講演に参加された皆様には何か持って帰れるものがあればいいかな～と思っています。

● やり続ける事で結果が見えてくる

～最後に一言～

最後に、ポジティブだねとよく言われるんですけど、私は至って普通と思っています。いつもポジティブでいる訳でもないし、感情的になる事もあります。ただ一つ誤解されたくない事として、ポジティブな人が偉いとは思っていないんです。もちろんポジティブで、人に勇気を与える事は大切な事と思っていますが、ネガティブな感情の時、相談することで助かる事もたくさんあると思います。なので色々な感情の面があっても良いと思っています。

今の仕事は、自分が好きで始めたこと。これはやるべきこととっていて、自分の使命なのかとも。でも好きだけじゃ続かない！それでも「楽しい」「わくわくする」と思うから、続けていけるとしています。そして、障がいのある方の選択肢を増やせる様に障がいがありながら、色々な事をやっている人が少なく、お手本になる存在がいない。目標になる人がいない。障がいがあっても「やろう」と思って実行した方がいないから、という事に気づき、車いすユーザーが何か魅力を発信して、その先駆けになればいいと思っています。車いすの方に「何かお手伝いしましょうか」との声かけ、これはこれで嬉しいのですが、そうでなくて、自然に話しかけられる、抵抗がなくなるようになればと思っています。やり続ける事で後々結果が見えてくると思います。「個性的」と「絶対楽しい」が私のキーワードです。

取材を終えて……

海さんの数多くの言葉は参加者の心に沁みわたりました！育ってきた環境も違うし、みんな同じではないので、人と比べることはしない。今この瞬間を大事に生きる。障がいのある方の選択肢を増やせるようにする。障がいのある方に対し、「何かお手伝いしましょうか」ではなく、抵抗なく自然に会話ができること等々まさに心のバリアフリーが拡散することを願いながら……

海さんの声、素敵に振る舞いに魅了されながら、様々なことを学べた貴重な時間であり、30年記念にふさわしい清々しい一日でした。

海さんありがとうございました♪ ますますのご活躍を応援しています。



<取材・記事・写真> 村松正広 坂下裕 鈴木健太 鈴木淡 川守成太郎

※なお、講演の様子は会員限定で視聴できます！事務局まで問合せ下さい。